

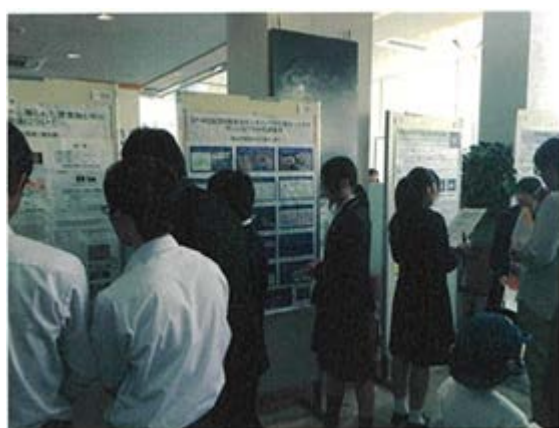
事業名		代表者所属	山口大学大学院理工学研究科
15KJ-020		代表者	教授 脇田浩二
山口大学理学部サイエンスワールド 2015 ～おいでませ！ハートときめくサイエンス～		開催地	山口大学 吉田キャンパス 理学部
		助成金額	15 万円
活動概要			
<p>日時：平成 27 年 10 月 18 日(日)</p> <p>場所：山口大学 吉田キャンパス 理学部</p> <p>対象：小・中・高校生やその保護者・地域住民</p> <p>参加者：1034 名</p> <p>内訳(小中高の先生;20 人)(生徒;約 600 人)</p> <p>内容：</p> <p>大学生による企画ブース・科学アトラクション(理学部ミステリーツアー)・サイエンスセッション U18 (中・高校生による研究発表)・公開市民講座ほか</p> <p>講演;1件、発表:31 件</p>			



親子連れが目立つ会場(学生展示ブース)



熱心に説明に聞き入る子供たち
(学生展示ブース)



ポスター発表する中・高校生
(サイエンスセッション U18)



公開市民講座「活断層に関する 3 講座」

事業の目的・ねらい

山口大学理学部は「自然科学の魅力を地域の青少年や市民に広く発信する」を合言葉に、小・中・高校生やその保護者・地域住民が身近に自然科学に触れられ場として「理学部サイエンスワールド」を長年途絶えることなく開催してきた。本年度は、県内の博物館や青少年科学館、中学や高校の科学部、県内のSSH 指定校との連携を強化した。従来の学生企画の展示実験の他に、博物館・科学館イベント、高校生主体の研究発表などの特別企画を追加した。目の前で起こる様々な科学現象等を通じて科学の楽しさを味わえる企画を多く設けることで、科学の面白さや社会的意義を広く知ってもらおうと同時に下供たちの理科離れの解消に大きく貢献することを目的とした。

事業の概要

平成 27 年 10 月 18 日(日) 10:00-17:30、サイエンスワールド 2015 を開催した。理学部並びに教育学部理科教育専修の院生・学部生による企画展示ブース 15 件、県内の博物館(防府市青少年科学館・山口県立山口博物館)の展示ブース、理学部内を巡りながら実験を行う科学アトラクション(理学部ミステリーツアー)、および高校生・中学生による研究発表(サイエンスセッション U18 [参加学校] 浜岡高校・益岡高校・山口高校・萩高校・宇部高校・高川学園高校・高川学園中学校・下関中等教育学校)、山口大学教授・金折裕司先生、同講師 楳原京子先生、産業技術総合研究所研究グループリーダー 宮下由香里氏による特別公開市民講座、日本化学会主催の夢・化学21、今年初めて開催したリケジョコーナーなど趣向を凝らした様々な企画を実施致しました。

結果及び効果

今年で 17 回目となるサイエンスワールドは、山口市内外からの来場者およそ 1136 名、主催者側(教員・学生)およそ 140 名の盛大な催しとなりました。10 時の開場を待ちきれず、9 時 40 分には多くの子供たちや親御さんが入場してきました。子供たちはもとより、真剣に取り組む親御さんたちの姿も目立ちました。本企画に参加した学生にとっても、展示ブースの企画立案・実施を通じて「科学の魅力をどのように伝えるか?」「分かりやすい説明をどのように工夫するか?」など多くの事を学べた貴重な学習体験となりました。

山口市内だけではなく、周南市・防府市・萩市からも多くの入場があり、大変好評であった。当日実施したアンケートでも、来年も是非とも参加したいという意見が数多く寄せられました。貴財団からの助成金のおかげで、大変有意義なイベントを成功裏に終了することができました。ありがとうございました。